

褒めること

愛知産業大学

学長 高橋 実 氏



教育随想

私の教育信条は、「愛すること」「見守ること」「諦めないこと」です。昨今、教育界でも高度化そして加速化する情報社会の影響を受け、情報リテラシー、MOOCs、AI、DX、またコロナ禍での授業もリモート、オンライン、オンデマンドなど、次から次へとカタカナ・英文用語が現れ、教育前線に立つ者にとって、理解や実践が追いつくのは大変な状況かと思えます。

しかし、教育の原点は変わりないと考えます。コンピューターや機械でなく、相手は人としての生徒・学生です。私の信条は初等教育を想起させるかも知れませんが、大学でも学部生、大学院生へと進むほど大切になります。「愛する」ことは、教育者の資質として必須です。博士を育てるには、最先端の研究課題に取り組んで貰いますが、「見守る」と

いうことは放置では無く、躓きや失敗は見えて見ぬ振りをし、自分で乗り越えるのを待つことです。難しいのは「諦めない」ことです。進捗が滞ると学生の能力を疑うこともありませんが、指導が正しいのかと自らへの問いも欠かせません。晴れて修士・修士・博士の取得に漕ぎ着けた時に師弟で喜び合う共感こそ、教えの醍醐味です。

経験を積み、より大切と思うようになったのは「褒めること」です。画家になった教え子がいます。彼は、某大手化粧品会社に就職し、パリに調香師となるべく派遣されました。「森の香り」を絵にする社内コンペでその潜在能力を見出されたためです。パリで多くの路上画家と接する中で画家への道を決意しました。小学生の時に、「S君、あなたは絵が上手ね」と先生に褒められたことが



原点にあると話してくれました。注意すれば言葉の暴力は避けられますが、褒めることは意外に出来ないというのが本音です。しかし、褒めた一言は、学生に自信を植え付け、覚醒を促すかもしれません。学長としても、叱りより一段と難しい褒めを心掛けています。

(たかはし みのる)



令和4年11月1日

11月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
愛知産業大学
学長 高橋 実 氏
- この人に聞く…………… 2
「岡崎空襲」戦後生まれの語り部
杉田 隆志 氏
- 羅針盤…………… 2
特別支援教育指導員
小田 美保
- ふれあい…………… 3
矢作東小学校
教諭 鈴木 広樹
- 特集…………… 4
三十六地蔵は語る
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー…………… 8
自主学习研究発表会(昭和44年)
- この本を…………… 8



戦禍の記憶を後世に

「岡崎空襲」戦後生まれの語り部

杉田 隆志氏

「戦争について深く考えるようになった経緯は—」

私が育った昭和三十年代は、戦争が終わって十年以上が経過していましたが、日本には未だ戦争の痕跡が色濃く残っていました。

その頃、岡崎で博覧会がありました。会場の前にいた白装束を着た元軍人が、表情を変えなくなくアコーディオンで軍歌を演奏する姿を見ました。生活に困窮し、お金を得るために行っていたのでしょうか。戦争の面影を色濃く残すその方の様子が印象的だったことを覚えています。

また、生平町の祖父母の家には、空襲を避け、康生町から疎開してきた方が住んでいたこともあり、戦争を身近に感じて育ちました。

中学生の頃になっても、戦争と同様に暴力で物事を解決しようとする雰囲気が残っていました。その空気を感じて、「戦争を二度と起こさない

ためにはどうすればいいのか」と考えるようになりました。

大学に入学してからは、戦争を二度と起こさない社会の実現に貢献したいという思いが強くなりました。卒業してからもその思いは日に日に募っていきました。

「岡崎空襲の記録を残し、語る活動をする意義と直面する課題は—」

戦争のことをもっと知りたい、後世に伝えていきたい、という思いから、三十代半ばくらいから、岡崎の空襲の記録を残し、語る活動に興味をもつようになりました。こうした活動を通して、実際に体験した方から生の声で空襲の記録を後世に残すことが、いかに重要かに気付きました。当然のことながら、実際に空襲を受けた方の話にはとても重みがあり、悲惨な歴史を二度と繰り返してはならない、という思いにさせてくれます。戦時の記憶を人の手でつなぐことに大きな意義を感じています。

しかしながら、現在、大きな問題を抱えています。それは空襲の体験を語る「語り部」が減少し続けていることです。語り部の中には、既に九十歳を超えた方もみえ、体調不良を理由に、参加できない日が増えていきました。以前、諸事情で予定していた語り部の活動を中止しようと考えて、相談したことがありました。

しかし、語り部の方から、語り継ぐことの大切さと記録することの意義を説かれ、「戦争を体験したことのない者に何がわかる」と、お叱りを受けたことがあります。語り部は、「二度と戦争を起こさない」という強

い意志で、自身の体験を必死に語り続けています。戦後生まれの我々が語るのとは重みが全く違うのです。

私はこれ以後、戦争を体験していない者が語り継ぐ方法として、当時を想像できる実物に触れる機会を増やそうと考えました。学童疎開の写真や戦時にやり取りされた手紙など、実物に語ってもらおうのです。

長い年月を経て、今もそこに残る実物には真実を物語る力があります。当時の様子や人々の思いを克明に残しているからです。

この先は戦争を知らない若い世代が「語り部」を担わなければならないかもしれません。いかに現実感をもって戦禍の記憶を後世に伝えるかをテーマに、戦争の体験を語り継ぐことに、日々奔走しています。

「今後の展望は—」

私がかつて活動してこることができた原動力は、戦争という過去の悲惨な出来事を絶対に繰り返してはならない、という強い信念です。空襲を体験された方の話を聞いたりとまとめた度、この先誰一人として同じような体験をしてほしくないという思いが強くなります。これから先も、戦争・空襲の記録を語り、残し続けます。



氏名 すぎた たかし
生年月日 昭和二十九年十一月二十七日
住所 岡崎市生平町



子供の伸びようとする芽を捉える

特別支援教育指導員

小田 美保

特別支援教育では、子供一人一人の個性、気質、行動や興味関心などを見極め、そのよさを学びに生かす。できないことではなく、子供自身が伸びようとするほんの小さな芽を捉えて目標を定め、支援の方法を探る。

AやBは、使える言葉が少なく、表現力が未熟なため、会話もあまり成立しない。しかし、絵本や紙芝居の読み聞かせに興味をもち、繰り返し出てくる言葉や場面を楽しんでいく。C教諭はこの小さな芽を捉えた。

そして、昔話「桃太郎」の紙芝居を教材にして語彙力を高めることを目標とした国語科の授業を計画した。「桃太郎」はストーリーが明確で、繰り返ししの場面が多いため、AやBは内容をつかみ、興味をもった。C教諭は授業場面でもAやBそれぞれ



笑 顔

矢作東小学校

教諭 鈴木 広樹

この春、二度目の転任で初めて小学校に異動した。そしてAと出会った。Aは私が担任する六年生であり、顧問を務めるソフトボール部員だ。

Aは、感情を表に出すのが苦手なのか、友達とふざけ合っているときは楽し気だが、何かを成しとげたときの喜びや悔しさを見せる場面は少なかった。なんとなくやる気の乏しい印象を感じ、気にかかった。

Aは運動が好きで、足が速い。ソフトボール部の練習でも落地点に入るスピードは際立っていた。私は早々に「外野をやってみないか」とAにもちかけた。思い切り走り、ボールを追う。これがAにとってよかったのだらう。部活動でのAはだんだんと子供らしい笑顔を見せるようになり、主体的に動く場面が増えた。

一方、学級でのAの姿は部活動とは異なっていた。学級開きからほとんどなくして、授業中に私語が出るよう

になった。

私はどうしたのかと思い、Aに尋ねた。Aは多くを語らず、「すみませんでした」の言葉で結んだ。しかし、その後のAの様子に変化はなく、同様のことは度々起こった。

ある日、時間をかけて、Aと話した。当初、Aが授業に前向きに取り組めないのは何か悩みがあり、その表れの行動ではないかと心配したが、ひっ迫した様子は感じ取れず、ひとまず安堵はした。しかし、話をするうちに学級では部活動のような自信をもてていないことが伝わってきた。

「先生は部活動でのあなたの姿を知っている。学級でももっと積極的に行動すれば充実した毎日にとることができるよ。」

私は、Aの目を見て、今まで以上に気持ちを込めて話した。いつもと違う私の真剣な雰囲気から、Aの表情が少し変わった。

「先生、自分で分かっていることでも、なかなか変えられないですね。」 Aはこれまでとは違う口調で、ぼつんと声を出した。本当はがんばりたい、けれども無理だろうと思うAの心の声を聞いたような気がした。

その日から、学級で何か挑戦できそうなことはないかと考え。事あるごとにAに声掛けをした。しかし、自信なさげに視線をずらし、力のない返事を繰り返すばかりだった。

私の学級では、授業開始前に、「席について」と気が付いた子からの呼

び掛けが出る。ある日、この呼び掛けにAの声が加わったのだ。はっとしてAの方を見ると、Aも私を見ていた。先生が見てくれているか意識しているようだ。「よく気が付いたね」とすぐさま声を掛けた。次の時間も、次の日も、Aの呼び掛けは続いた。Aは変わろうとしている。

五月も半ばを過ぎたころ、Aは給食当番で牛乳を配っていた。時折吹く涼風で机上のストローが飛ぶ。これまではお構いなしに牛乳を配ったAだったが、この日は指でストローを手繰り寄せ、その上にそっと牛乳を置いた。「飛ばないようにする気配りがうれしいな」とAに近寄り、声を掛けた。褒められると照れくささを隠すように、ぶつきらぼうに振舞っていたAだが、三角巾とマスクの間から見える目元の変化から、Aがにっこり笑ったのが分かった。励ますことしかできなかった私だが、Aのこの笑顔が忘れられない。



のよさを学びに生かすことができるよう、支援の方法を考えた。

Aは会話の力は未熟だが、身振り手振りで積極的に自分の思いを伝えようとする。そこで、C教諭はきび団子をやり取りする場面を動作化することで、Aの身振り手振りが言葉とつながるようにした。Aはきび団子を手にし、嬉しそうに「どうぞ」と言いながらBに渡した。さらに、犬のお面を頭に被ると犬役になり切り、桃太郎役のBに手を出す動作をしながら、「ください」と場面に応じた言葉を使うことができた。

一方のBは、手先を使う作業を好み、文字を書き写すことができる。Bに対し、動作化で使った言葉の意味と発声、文字を結びつけるために、書く活動を取り入れた。Bは、自分が用いた「ください」や「はい、どうぞ」を、手本を見ながら書き写し、発声することで、言葉の意味と文字とを結び付けた。C教諭は子供の実態を捉え、授業で伸びようとする芽に対しての適切な支援を行った。

それぞれの子供に合った指導や支援の方法を見つけることは簡単ではない。しかし、丁寧な実態把握から伸びようとする芽を探し、いかに伸ばすかを考える営みが、生き生きと学ぶ子供の姿につながるのである。

岡崎 再見

三十二地蔵は語る 〜岡崎城下の地蔵尊巡り〜

穏やかな水面を眺めながら吹屋橋を南に渡り、駅前通りを横切る。踏切を越えて西に歩くとほどなく、緑に囲まれた閑静な寺院が見えた。源義経が浄瑠璃姫のために建立した妙大寺の本尊が納められたと伝わる、明大寺町の安心院(30)だ。安心院は、岡崎三十六地蔵札所の三十番目に数えられる。

本堂の千体地蔵を参拝後、落ち葉を踏みしめ、墓所に向かう。墓所にたえずむ地蔵尊三体の中央は、その昔、市役所近くの十王堂にあった咳地蔵(31)だ。十王堂は、天保五年の地蔵尊巡りでは終着点となる三十六番札所であった。岡崎空襲によって堂は破壊し、三体の地蔵尊も一部破壊されたが、咳地蔵は地域住民によって修復され、安心院に寄贈された。石像に刻まれた修復の痕跡から、当時の人々の思いが伝わってくる。

岡崎三十六地蔵は、江戸後期から明治にかけて、岡崎城下で流行した地蔵尊巡りが所以である。天保五年には木版で案内書が作られ、多くの人々が巡礼した。明治期の神仏分離や政府の政策で寺社が衰えたことに加え、空襲の戦火によって多くの寺が焼失し、地蔵尊巡りは途絶えた。昭和三十五年に有志が立ち上がり、以降六十余年の歳月をかけ、寺社の再編を行い、令和の岡崎に再興した。

籠田公園を通り抜け、甲山寺(8)、源空寺(11)、さらに西へと歩みを進めてみる。福寿町の地蔵院(13)に辿り着き、本堂に入った。そこには、首切り地蔵尊が安置されている。この地蔵は、家康正室の築山御前の塚前に設置した地蔵尊であった。年月で朽ち落ちた地蔵尊の首を尼僧が胴に据えると、肉付いて落ちなかつたと伝えられる。伝承を物語るかのように、首回りはひび割れのような筋がある。歴史を色濃く残す姿に、荘厳さを感じた。

三十六の地蔵尊は、古来より岡崎の地で愛され、多くの人の願いを聞き続けた。親しみを込めてお地蔵様と呼ばれ、いつも人々に寄り添うように立っている。行楽シーズンも盛りを迎えた秋の日に、岡崎三十六地蔵を巡り、古の空気を感じながら巡礼した人々の思いに触れてみてはいかがだろうか。



▲安心院 戦禍の破壊から修復された咳地蔵(第三十一番札所)

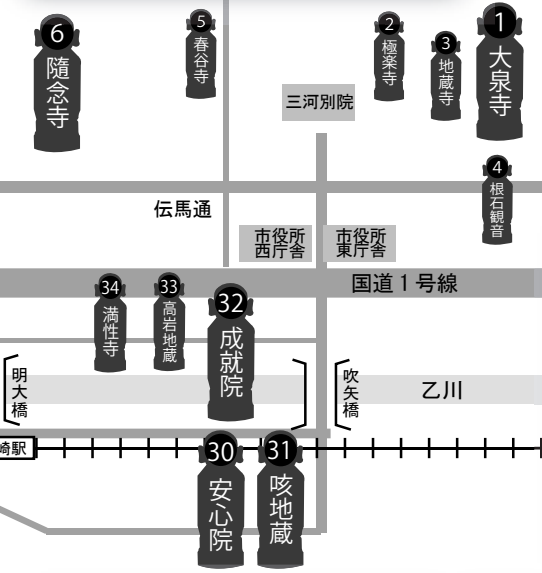
▲大泉寺 延命地蔵菩薩(第一番札所)



▲随念寺 地蔵菩薩(第六番札所)



▲成就院 子育て地蔵菩薩(第三十二番札所)



▲西岸寺 地蔵菩薩坐像(第36番札所)



▲龍海院 地蔵菩薩(第29番札所)



▲九品院 地蔵菩薩坐像 (第22番札所)



▲地蔵院 首切り地蔵尊 (第13番札所)



▲光明寺 地蔵菩薩 (第26番札所)



▲龍城地蔵堂 地蔵菩薩 (第27番札所)



▲甲山寺 地蔵菩薩 (第8番札所)





●表彰関係

◆第44回東海中学校総合体育大会陸上競技大会

○男子走幅跳
12位 竜南中 荻野 斗駿

○男子4×100mメドレーリレー
11位 竜南中
船越 健・小澤 壮斗
加藤 由宇・柏 隼矢

◆第44回東海中学校総合体育大会バレーボール大会兼
第53回東海ブロック中学校バレーボール選手権大会

○男子の部
出場 矢作中

◆第43回愛知県ジュニアオリンピック兼U16日本選手権予選会

○女子三段跳
優勝 甲山中 近藤 愛

○女子砲丸投
優勝 六ツ美北中 新開 愛純

○女子3000m
2位 六ツ美北中 渡辺 愛来

○男子三段跳
2位 竜南中 荻野 斗駿

○女子1000m
3位 甲山中 富澤 茉那

◆第75回中部合唱コンクール
中学生部門 同声合唱の部
銀賞 六ツ美北中

◆第89回NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロックコンクール
中学校の部
銅賞 竜海中

○男子3000m
3位 矢作北中 伊藤 颯汰

◆第75回中部合唱コンクール
中学生部門 同声合唱の部
銀賞 六ツ美北中

◆第89回NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロックコンクール
中学校の部
銅賞 竜海中

○小学校の部
銅賞 三島小

◆第89回NHK全国学校音楽コンクール愛知県大会
中学校の部
金賞(東海北陸大会に進出) 竜海中

◆第57回CBC子ども音楽コンクール
中学校 合唱部門
優秀賞 六ツ美北中

○小学校 合唱部門
優秀賞(中部日本決勝大会進出) 六名小

優秀賞(中部日本決勝大会進出) 三島小

優秀賞(中部日本決勝大会進出) 竜美丘小

優秀賞 連尺小

優秀賞 山中小

◆令和4年度学校関係緑化コンクール
学校環境緑化の部
特選 公益社団法人愛知県緑化推進委員会会長賞

形埜小

入選 愛知県教育委員会賞
梅園小

◆令和4年度フラワー・ブラボー・コンクール
優秀賞 東海テレビ賞
形埜小

◆高円宮杯第74回全日本中学校英語弁論大会愛知県大会
優秀賞 南中 大岡 瑞歩

◆俳人協会第61回全国俳句大会
ジュニア俳句の部
入選 矢作南小 山本真由飛

「いじめ重大事態」公表資料を踏まえた、いじめ防止に向けた取組の推進について

左記ウェブページにて、岡崎市の中学校で発生したいじめの重大事態案件における調査報告書等を公表しています。本事案を教訓とし、同種の事案の再発防止に向けた取組をお願いします。



QRコード

URL: <https://www.city.okazaki.jp/>

1300/1304/1328/111111111111.html

掲載期間

令和五年三月十五日(水)まで



【電話】
(0564) 64-6665
【MAIL】
info@okazaki-kowaka.net
【LINE】から相談予約↓
☆月～金
8:30～17:15
最終相談受付
(16:00)



岡崎市子ども・若者相談センター「わかサポ」がオープン
岡崎市役所横、福祉会館二階に〇才～三十九才の幅広い年代の悩みや困りごとに対して、専門の相談員が支援をする「岡崎市子ども・若者相談センター わかサポ」がオープンした。一人一人に合ったオーダーメイドの伴走型支援を提案する。相談は無料。

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

第55回 岡崎市中学校新人総合体育大会

Table with 5 columns: 種目, 性, 優勝, 第2位, 第3位. Rows include 陸上競技, バスケットボール, バレーボール, ソフトテニス, 卓球, 剣道.

Table with 5 columns: 種目, 性, 優勝, 第2位, 第3位. Rows include ハンドボール, 軟式野球, ソフトボール, 柔道, サッカー, 弓道, 水泳.

個人競技 (1位記録のみ)

水泳競技

Table with 3 columns: 種目, 男子, 女子. Includes 50m自由形, 100m自由形, 200m自由形, 50m平泳ぎ, 100m平泳ぎ, 50m背泳ぎ, 100m背泳ぎ, 50mバタフライ, 100mバタフライ, 200m個人メドレー, 4x100mR, 4x100mメドレーR.

陸上競技

Table with 5 columns: 性, 種目, 氏名, 校名, 記録. Includes 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 110mH, 4x100mR, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 砲丸投, 100m, 200m, 800m, 1500m, 100mH, 4x100mR, 走高跳, 走幅跳, 砲丸投.

柔道

Table with 3 columns: 男子, 女子. Includes 階級, 氏名, 校名. Rows include 軽量級, 軽中量級, 中量級, 重量級.

弓道

Table with 3 columns: 男子, 氏名, 校名. Includes 星野光希, 大谷梨桜.

令和4年度 岡崎市小学校体育大会

Table with 4 columns: 競技, 優勝, 第2位, 第3位. Rows include ソフトボール, バレーボール, バスケットボール, サッカー, 水泳.

第60回 岡崎市小学校陸上競技大会

<男子総合>

Table with 4 columns: 1位, 2位, 3位. Includes 常磐南, 山中, 岡崎.

<女子総合>

Table with 4 columns: 1位, 2位, 3位. Includes 美合, 形埜, 秦梨.

Table with 5 columns: 性, 種目, 氏名, 校名, 記録. Rows include 100m, 5年100m, 80mH, 1000m, 4x100mR, 走幅跳, 走高跳.

・カ
ツ
ト

井
田
小
岩
田
恵
子

自主学習研究発表会 (昭和44年)

写真提供：豊富小学校



子供たちは互いの顔を見ながら、他者の意見に耳を傾け、進んで自分の考えを述べている。そして、教室を埋め尽くさんばかりの参観者が一心に記録を取り、子供の反応、動き、発言に注目する。

豊富小学校では、昭和四十四年十一月、第三回自主学習研究発表会を開催した。昭和四十二年から毎年行う自主学習研究発表会は、遠方から講師を招き、昭和の終わりまで脈々と続いた。子供の内面を見つめ、主体性を重んじる教育は、今日の豊富小学校の研究に通じている。

岡崎の教師は、子供の主体的な学びの実現に向けて、切磋琢磨し、授業研究に取り組んできた。この情熱とためまぬ実践が、今も岡崎の教育を支えている。

時計の針が四時を回った。下校の時
間だ。校門脇の植込みには、季節外れのツツジの帰り花が咲いていた。

「さようなら」「また明日」「長く伸びた校舎の影に吸い込まれるように、子供たちは足早に下校する。一人ぼっちの帰り花が「明日も元気に学校へおいで」とそっとほほ笑んだような気がした。

ど ホ ツ 目 霜



▲ツツジの帰り花(矢作南小)

法灯を絶やさず、江戸時代から受け継がれた地蔵尊は、岡崎に数多く現存する。しかし、天保の地蔵尊巡りの復興は容易ではなかった。

二〇一六年にも地蔵巡りマップが発行されるが、その間も寺の統廃合が進み、再編成となった。令和で復活を遂げたのは、地蔵尊が人々の心の拠り所である所以であろう。

机を囲んで話し合う。自分の意見が相手に伝わったとき、彼は「笑顔」を見せた。互いを認め合うことは、自分の存在意義を高めてくれる。人と比べて自分を意識する年ごろのことを思い返す。自分らしさを大事に思えるようになってきたのはいつからだだろうか。彼の「笑顔」にある彼らしさが眩しく思えた。



* 遺伝子スイッチ・オンの奇跡 工藤 房美
風雲舎 ￥1,540

心に残った一文
「ありがとう」は遺伝子のスイッチを入れるキーワード

人間のDNAのうち、実際に働いているのは全体のわずか5%程度であるという事実を知った著者は、残りの95%のうち1%でもオンになったら今より元気になるかもしれないと考えた。そして、病気に打ち勝つ力は遺伝子と関係していると考え、自身の(がん細胞を含めた)60兆個全ての細胞の遺伝子に「ありがとう」を言い続ける。その結果、ついにがん細胞が消えるという奇跡が起きた。

精神面だけでなく、科学に裏打ちされたこの体験は私たちにも希望を与えてくれる。言葉には力がある。特に「ありがとう」は、遺伝子のスイッチまでをオンにする力があるのだ。私もこの力を信じて生きていきたい。

- * スクール・ペップトーク 岩崎 由純
学事出版 ￥1,760
- * 「ありがとう」100万回の奇跡 工藤 房美
風雲舎 ￥1,650
- * 生命の暗号 村上 和雄
サンマーク出版 ￥628
- 六ツ美北中学校 天野 孝志